

積 算 参 考 資 料

工事名： 舗装指定修繕工事（寺竹工区）・橋りょう修繕工事（八瀬橋補修工）
一般県道二本木飯能線／入間市寺竹地内

この「積算参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、埼玉県建設工事標準請負契約約款第1条にいう設計図書ではない。したがって「積算参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「積算参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

埼玉県飯能県土整備事務所

【間接工事費率補正（任意乗算補正）】

共通仮設費率補正：1.02倍

現場管理費率補正：1.03倍

工事名：舗装指定修繕工事（寺竹工区）・橋りょう修繕工事（八瀬橋補修工）

積算数量一覧表

工事区分 (LEVEL1)	工 種 (LEVEL2)	種 別 (LEVEL3)	細 別 (LEVEL4)	規 格 (LEVEL5)	単位	数値	設計 数量	積算 数量	人数 日数等	摘 要
道路修繕	舗装工	路面切削工	路面切削 (t=5cm)	As舗装 平均切削厚5cm	m2	1	450.5	451		夜間 概算数量
			殻運搬処分	As殻	m3	1	22.5	23		夜間 概算数量
		オーバーレイ工	表層（一般部）	再生密粒度As (20) t=5cm	m2	1	450.5	451		夜間 概算数量
	区画線工	区画線工	溶融式区画線 (白・実線W=15cm)	W=15cm 白実線	m	10	206.0	210		昼間 概算数量
			溶融式区画線 (白・破線W=30cm)	W=30cm 白破線	m	1	3.0	3		昼間 概算数量
			溶融式区画線 (黄・実線W=15cm)	W=15cm 黄実線	m	10	103.0	100		昼間 概算数量
			溶融式区画線 (白・ゼブラW=45cm)	W=45cm 白ゼブラ	m	1	30.0	30		昼間 概算数量
橋梁保全工事	橋面舗装工	橋面防水工	橋面防水	塗膜系防水	m2	1	102.0	102		夜間 概算数量
			床版水抜ドレーン設置工		箇所	1	4	4		昼間
			Co殻運搬処分		m3	0.001	0.002	0.002		昼間 概算数量
		橋面舗装工	路面切削（橋りょう部）	As舗装 平均切削厚5cm	m2	1	102.0	102		夜間 概算数量
			殻運搬処分		m3	1	5.1	5		夜間 概算数量
			表層（橋りょう部）	密粒度As (13) (改質Ⅱ型) t=5cm	m2	1	102.0	102		夜間 概算数量
交通誘導警備員	交通誘導警備員	交通誘導警備員	交通誘導警備員B (夜間)	夜間作業	式	1	1	1	4人	参考
			交通誘導警備員B (昼間)	昼間作業	式	1	1	1	6人	参考
間接費	共通仮設費	運搬費	建設機械運搬費	路面切削機	台	1	1	1	1台	往復
		技術管理費	鉄筋探査	下向き	m2	1	1.0	1		

資材単価一覧表

工事名 : 舗装指定修繕工事(寺竹工区)・橋りょう修繕工事(八瀬橋補修工)

工事場所: 一般県道二本木飯能線／入間市寺竹地内

番号	品名	規格・寸法	単位	建設物価	積算資料	県単価	見積等	決定単価	摘要
1	床版水抜ドレーン	既設橋用 吊金具等含む	本				●	28,896	
2	注入樹脂	3kg／1セット	セット				●	13,973	
3	目地材	アスファルト舗装用成形目地材5mm×30mm 低弾性	m	●	●			-	

歩掛採用表

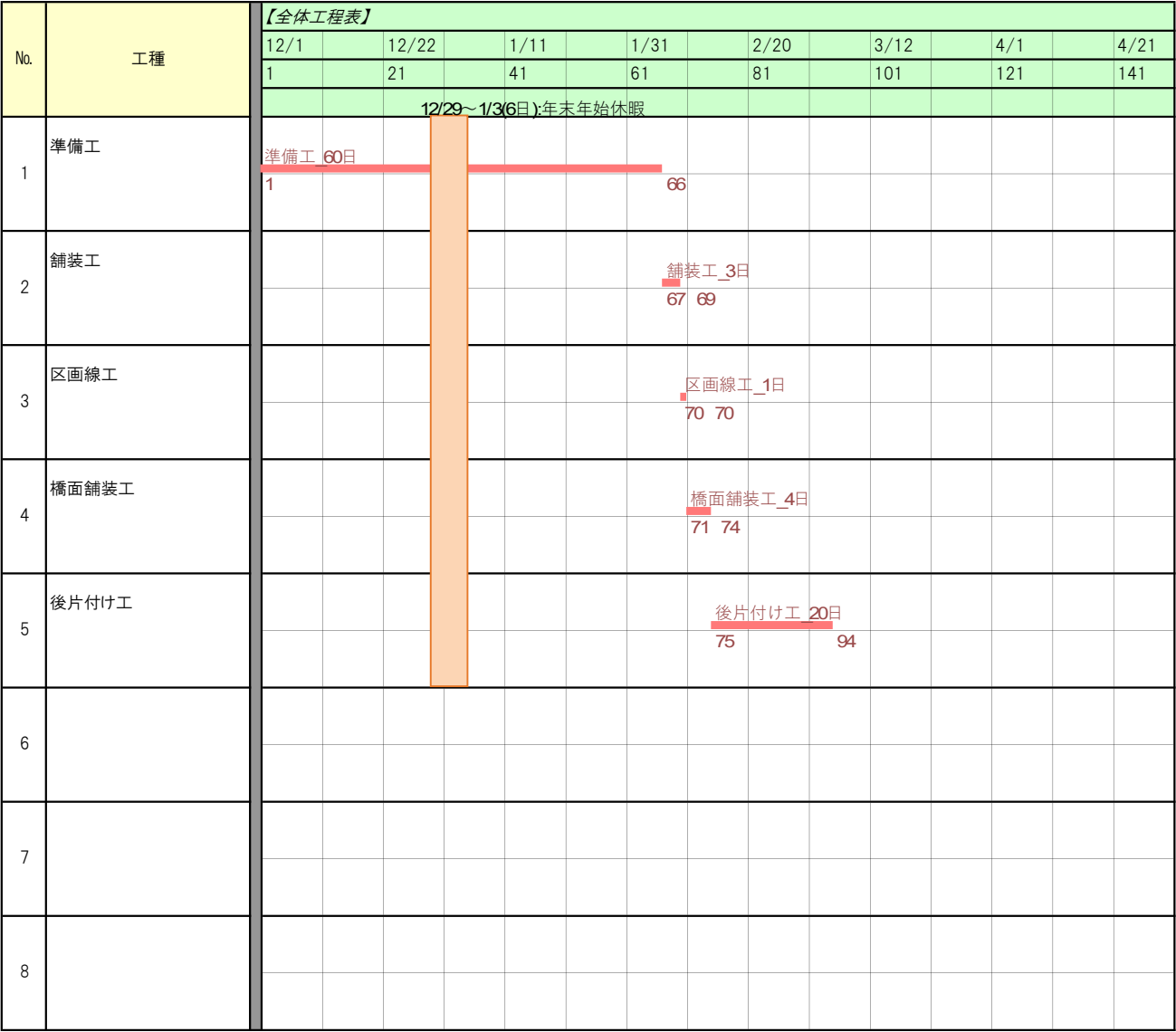
鉄筋探査(下向き)

- ・橋梁架設工事の積算 令和7年度版
- ・橋梁補修補強工事 積算の手引き 令和7年度版 参照

床版水抜ドレーン設置工

10箇所当り

名称・規格	単位	数量	備考
橋りょう世話役	人	5.0	[1]
特殊作業員	人	10.0	[1]
ダイヤモンドビット 64.7mmスタンダード	個	5.0	
ダイヤモンドビット 110mmスタンダード	個	5.0	
コンクリート穿孔機[電動式コアボーリングマシン] 簡易仕様型 最大穿孔径25cm	台・日	5.0	
発動発電機[ガソリンエンジン駆動] 2kVA	台・日	5.0	
床版水抜ドレーン 既設橋用 吊金具等含む	本	10.0	
注入樹脂 3kg／1セット	セット	1.0	
諸雑費(まるめ) 燃料費含む	式	1.0	$\Sigma [1] \times 11\%$



「バーチャートは、土日、祝日期间を控除して表示されますが、
これらの抑制期間は雨休率に含まれていますので注意願います。」

※この「積算参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件等十分考慮して仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成させるための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。